

# 地域に根ざした活動をめざして

～地域人材を生かしたふるさと教育の実践～

【下関市 豊田中学校区】

## 地域の概要

平成 24 年 4 月に下関市豊田町内の 2 つの中学校区が統合し、新たに「豊田中学校」が誕生しました。豊田地域では、ホテルといで湯をテーマとした地域づくりを推進しており、ホテル祭り・ホテル舟は地域最大のイベントです。

また、観光の目玉である「ホテル」「温泉」「梨」「道の駅」を核として、交流人口の拡大を図り、地域の活性化に努めています。

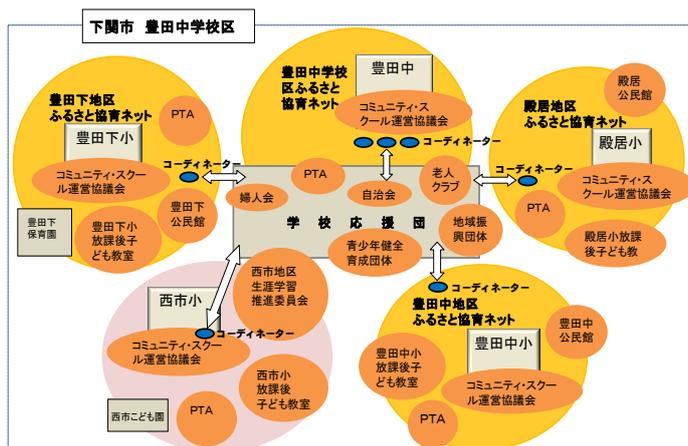
人口	5,827 人	
世帯数	2,522 世帯	
対象校及び児童生徒数	豊田中学校	137 人
	豊田下小学校	80 人
	西市小学校	150 人
	豊田中小学校	26 人
	殿居小学校	16 人

## 組織の内容

豊田町内における「ふるさと下関協育ネット」は、平成 23 年度に豊田下小学校区、続いて平成 24 年度に殿居小学校区と豊田中小学校区において立ち上がりました。さらに平成 24 年 4 月、豊田町にあった 2 つの中学校区が 1 つに統合されて開校した「豊田中学校」にも同年 8 月「ふるさと下関協育ネット」が立ち上がり、全町内で学校支援活動が開始されることになりました。

「豊田中学校区ふるさと協育ネット」は、学校関係者や自治会、婦人会、社会教育団体、地域振興団体、青少年健全育成団体、各小学校「ふるさと下関協育ネット」及び地域ボランティアで組織され、毎年 6 月に定期総会を開催し、年間事業計画の承認と組織拡大に向けた広報活動を行っています。また、定期的に「コーディネータ等役員会」を開き、学校のニーズに合わせた具体的な話し合いを行っています。

今後も継続して、地域の方々がもつ経験や技能を生かせる活動や、誰でも気軽に参加できる活動など、様々な取組を展開していきます。



## 特色・重点的な取組

活動開始から 2 年目を経過して、次第に「ふるさと下関協育ネット」のメリットが、学校や保護者だけでなく、地域にも徐々に理解されるようになりました。昨年度末のコミュニティ・スクール運営協議会でも、各委員から、積極的に地域とかわり、地域の人材を生かし、更なる活動の充実を図っていくことが要望されました。

そこで今年度は、「ふるさと下関協育ネット」の取組として、「環境整備」「授業支援」「ふるさと教育」の 3 つの支援事業に取り組みました。とりわけ、郷土の歴史と偉人等について学習する「ふるさと教育」では、郷土史グループや研究家の皆さんの全面的な支援もあり、子どもたちがふるさとの良さを再発見する機会になりました。

また、このような教育支援活動を行う地域人材の拡充に向け、各小学校区の「ふるさと下関協育ネット」との連携・協力を発展させるため、今年度、豊田中学校区としての取組を進めています。

## 主な活動の紹介

### ○PTA教育講演会で「ふるさと歴史講演会」を開催

- ・「ふるさと下関協育ネット」が地元生涯学習団体とPTAをコーディネートし、郷土史家を招いて、生徒・保護者・地域の方々とともにふるさとの歴史について学びました。



ふるさと歴史講演会

### ○「肥中街道ウォーク」でふるさとの歴史を探訪

- ・中世の大内文化と大陸との大動脈であった肥中街道を歩きながら史跡めぐりを行いました。各所のガイドは郷土史家の方々に、また危険箇所では安全見守り隊に協力していただきました。



肥中街道ウォークの様子

### ○PTAや学校と連携した環境美化活動

- ・中学校の敷地内には、歴史講演会で話題に上がった人物の鎮守の森があります。そこでPTA奉仕作業に合わせて、多くのボランティアとともに環境整備作業を行いました。鎮守の森の由来を学習した縁で、涼しい風が吹き込む最適な学習環境になりました。
- ・校舎周辺の植木の剪定や季節にあった花壇づくり
- ・入学式や卒業式などの学校行事における生花の飾り付け

### ○「豊田町文化産業まつり」で交流活動

- ・自己資金の捻出と「ふるさと下関協育ネット」の活動を広く周知することを目的に生徒ボランティアを呼びかけ、地域おこしのイベントへの企画・運営やマイブースでの販売・接客を行いました。



婦人会による着付け教室

### ○授業にゲストティーチャー

- ・技術科では、地元の農業法人での収穫体験や野菜作り、家庭科では、着物の着付けや郷土料理の調理実習にゲストティーチャーを招き、専門的な知識や技術を学びました。

## 成果と課題

これまで、学校だけの力では行き届いていなかった、ふるさとの伝統文化の学習や教育環境の充実を図ることができるようになりました。また、数多くのゲストティーチャーを迎えたことで授業内容に専門性が増し、学習への関心や意欲を高めることができました。

これからも、多くの方の理解・協力を得るためには、組織のすそ野を拡大し、各小学校区で活動されている地域の方を、中学校区（町内全域）でも参加していただく取組にしていくことが課題です。

## 今後の取組

今年度、町内の小・中学校のコミュニティ・スクール運営協議会委員が集まり、「豊田町内の15年間の子どもの育ちを考える」という趣旨の下、第1回の地域研修会を開催し、熟議の形で意見交換を行いました。

この動きに合わせ「豊田中学校区ふるさと協育ネット」でも、各小学校区で活動されているボランティアのネットワークをさらに幅広く構築し、地域ぐるみで子どもを育めるよう、今後も継続した事業と広報活動の推進に努めていきたいと考えています。

